GN-1941-1

COMET ROESTI V4

OMET ROESTI V4 基板

概説

J-PARC 加速器を使用したミューオン電子転換過程探索実験を計画しております。ハドロン実験施設にある南実験棟 COMET ビームラインにおいて陽子ターゲットにビームを照射させ、そこで発生したパイオンを輸送ソレノイド超伝導磁石にて輸送し、崩壊してできたミューオンを Al ターゲットでとめ、そこで発生する電子を最終段に設置した検出器で探索します。この実験は Phase-II と二段階で進めている計画であり、Phase-I 実験では上記探索に加え、世界初となるビームそのものの性質を精査するものです。 本基板は専用計測用回路基板とした プリント配線基板です。



基板はアナログ信号を処理する波形処理回路、デジタル信号変更回路、およびデジタル信号を処理する FPGA により構成されている。

仕様

● I/F

Input: FX2CA2-40S-1.27DSAL(71) DATA

: 919-109J-51PX (Amphenol)

output: UE76-A20-3000T (SFP コネクタ)

: 8931E-068-178L-F (32ch differential signal)

Power: B02P-XL-HDB(LF)(SN)(P) + 6 V

Size: 185mm x 80mm

●出力ピン

		CN7			
REMOTE_TRIGGER_P	A1	A1	B1	B1	REMOTE_TRIGGER_N
REMOTE_TRIG_PULSE	PA2	A2	B2	B2	REMOTE_TRIG_PULSE_N
REMOTE_TRIG_BUSY_	P A3	A3	B3	В3	REMOTE_TRIG_BUSY_N
REMOTE_TRIG_CLK_P	A4	A4	B4	B4	REMOTE_TRIG_CLK_N
REMOTE_TRIG_IN_P	A5	A5	B5	B5	REMOTE_TRIG_IN_N
REMOTE_TRIG_OUT_P	A6	A6	В6	В6	REMOTE_TRIG_OUT_N
REMOTE_TDO_P	A7	A7	B7	В7	REMOTE_TDO_N
REMOTE_TMS_P	A8	A8	B8	B8	REMOTE_TMS_N
REMOTE_TDI_P	A9	A9	В9	В9	REMOTE_TDI_N
REMOTE_TCK_P	A10	A10	B10	B10	REMOTE_TCK_N
8931E-020-178S-F					
0931E-020-1703-F					

●入力ピン

